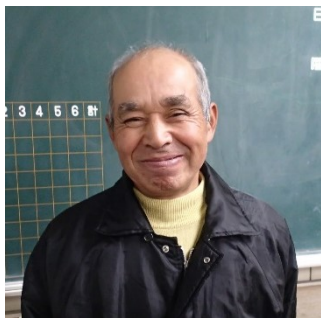


あけましておめでとうございます。今年も笠原棚田米プロジェクトの6年目（6月田植え、10月稲刈り、出荷は11月分から）。平成24年九州北部豪雨からの復興から次のステップに切り替わる時期だと考えています。美しい棚田を未来に引き継ぐ仕組みを目指し、これからも農家、関係者一同、頑張っていきたいと思っておりますので、サポーターの皆さんのご参加ご協力どうぞよろしくお願い致します！！

今月のお米 小川誠二郎さん「ヒノヒカリ」：鰐八地区



小川さんの棚田は、南笠原の鰐八地区の最上流部（標高480m）で通称「土取の棚田」と呼ばれる場所です。小川さんのお父さんが石積み職人だったこともあり、石垣がとても見事です。

小川さん「昨年4枚で1反6畝（16a）の田んぼを特別栽培米に切り替えて、温湯消毒の種子を使い、有機質肥料5袋を使い、化学肥料を減らして栽培しました。6月初めに雨が降らず、湧水が少なかったため、田植えがいつもより2週間遅れて6月20日過ぎになってしまった。収量は例年よりすこし少ないか

な。でも青米（未成熟米）が多かったのもう少し稲刈りを遅らせても良かったかもしれない。笠原棚田米に出す田んぼではなく他の田んぼだが、今年はイノシシにだいぶやられてしまって残念。」とのお話でした。

※青米（未成熟米）が多いと、フルイからこぼれ落ちるクズ米が増えて収量が減ります。でもある程度は青米が入った方が美味しいお米になります。このあたりを見極めて農家さんは稲刈り時期を決めますが、昨年は雨が少なくて田植えが遅れてしまったため、収穫時期も難しかったようです。



◆事務局より

○新規サポーターさん募集中！

棚田を守る取り組みに参加いただける方がいらっしゃいましたらご紹介下さい！サンプルとチラシを送らせていただきます。同封の農産物注文書で**サンプル**を注文できますので、ぜひご活用ください！

○次回のお届け 次回（2/7発送）は安達保さんの「ヒノヒカリ」をお届け予定です。

※精米歩合の変更や配達先変更をご希望の方は、発送の前月20日までにお知らせください。



こめづくり もりづくり ひとづくり

山村塾

美しい棚田を未来へ

特定非営利活動法人 山村塾

〒834-1222 福岡県八女市黒木町笠原 9836-1

TEL/FAX:0943-42-4300 E-mail : info@sansonjuku.com

山村塾 HP <http://sansonjuku.com>

【H29年度サポーター数】12月83名→1月83名/116.5俵（個人：81、企業/団体：2）

【守られている棚田面積】19,416㎡（116.5俵⇒194.2a 収量6俵/10aとして）

※農家がやる気を持って取り組む仕組みを作り、棚田の風景を次世代へ引き継ぐため、「5年間買っぞ！」の口約束をしてくれるサポーターを募集しています！

※棚田米サポーター募集！ <http://sansonjuku.com/activity/tanada>